

令和3年度決算に係る

定期監査

資料

決算審査

令和4年7月

交流人口拡大本部  
観光交流局 観光戦略課

## 目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	職員の定員、現員調べ	2
4	役付職員の調べ	2
5	主な事業に関する調べ	3
6	決算資料（総括表）	8
7	事業別実施状況調べ	10
8	予備費の充用調べ	16
9	現金の取扱状況	16
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
10	財産に関する調べ	16
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
11	財産の貸付け及び使用許可調べ	18
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
12	借受不動産明細調べ	19
13	職員駐車場の管理状況調べ	19
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
14	寄附物件の受納状況調べ	19
15	備品の処分状況調べ	19
16	貸付金等状況調べ	20
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	20

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等
<p>観光客入込動態調査業務委託契約について、一般競争入札の結果不落札となったため、予定価格を増額変更して随意契約を行っていた。</p>	<p>職員、並びに上司が委託契約の一般競争入札を行う上で、不落札となった場合に、当初に定めた予定価格等の条件を変更することができないという認識がなかったことが原因である。 当初予定価格(2,896,850円)と当初契約額(2,915,550円)の差額(18,700円)について、減額の変更契約を締結した。 令和3年12月17日に、今回の指摘内容を所属内に周知するとともに契約事務処理要領についての所属内研修を行い、周知徹底した。</p>

(2) 監査意見  
該当なし

(3) 決算審査意見  
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況  
該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	4.4.1 現在	3.4.1 現在	4.4.1 現在	3.4.1 現在	4.4.1 現在	3.4.1 現在	4.4.1 現在	3.4.1 現在	
定員	25	24	0	0	0	0	25	24	
現員	(4) 25	(4) 23	(1) 1	(1) 1	( )	( )	(5) 26	(5) 24	鳥取県観光連盟2名、山陰インバウンド機構2名、関西広域連合1名
過不足(△)	0	△1	1	1			1	0	
臨時的 任用職員	0	0	0	0			0	0	
会計年度 任用職員	3	3	0	0			3	3	事務3名

4 役付職員の調べ

(令和4年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
局長	鈴木 俊一	2	3	
サイクルツーリズム振興監兼 副局長兼観光戦略課長	濱本 修	2	3	
観光誘客ディレクター	(兼) 木村 みゆき	1	3	国際観光誘客課
サイクルツーリズム振興室長	長田 洋一	0	3	
課長補佐	仲谷 皇一郎	0	9	出納員
課長補佐	山根 玄衣	1	3	
課長補佐	山下 直人	3	3	
課長補佐	池本 拓	4	3	
課長補佐	福田 昌弘	2	3	
課長補佐	伊藤 康司	1	0	
課長補佐	小椋 大史	1	3	
課長補佐	中原 登	0	3	
参事(山陰インバウンド機構)	森本 誠人	3	3	国際観光推進課・観光戦略課 (課長補佐)から継続 (通算:15年3月)
参事(鳥取県観光連盟)	澤田 和明	0	3	
課長補佐(鳥取県観光連盟)	塚本 成史	1	3	
課長補佐(山陰インバウンド 機構)	安達 直樹	1	3	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
サイクリストの聖地鳥取県整備事業 (サイクルツーリズム推進事業)	15,835	2,910			12,925
将来ビジョン	1 ひらく (1) 国内外の旅行者が増加するとともに、多様な分野の海外交流が展開				
令和新時代創生戦略	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる 鳥取+ism (1) 観光・交流 ①豊かな観光資源を活かした戦略的観光立県 SDGs目標：08 働きがいも経済成長も				
政策項目	IV 暮らし新時代 ⑧ジオ・星・食・自然・温泉や歴史・文化・マンガを活かし外国人宿泊客25万人へ				
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>県内外のサイクリストに安心快適にサイクリングを楽しんでもらえるよう、サイクリスト支援体制の充実を図るとともに、県内サイクリングルートの利用促進に向けた受入環境の整備を進め、サイクルツーリズムの全県展開を図る。</p> <p>2 事業の内容、実施の状況</p> <p>(1) 県内周遊サイクリングルートの設定・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取河原自転車道の修繕を進めるとともに、八頭・若桜周遊ルートについて関係者との調整を実施し、令和4年度のルート設定・整備にむけての道筋を立てた。</li> </ul> <p>(2) サイクリスト支援体制、受入環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクルカフェ協力店舗数が、令和3年度当初の81件から47件増加の128件となったほか、サイクリストに優しい宿認定制度を創設し、自転車の客室持込など可能な宿泊施設17施設の認定を行った。</li> <li>・西部で先行するサイクルの取組を全県へ広げるため、県東部・中部でサイクルガイド養成講座を実施し、サイクルガイド人材を育成した。</li> <li>・レンタサイクル拠点整備事業補助金により、湯梨浜町観光協会など新たに4カ所についてサイクリング拠点を整備した。</li> </ul> <p>(3) 県内サイクルツーリズム情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(公社)鳥取県観光連盟WEBサイト内の「とっとり自転車旅」ページにおいて、県内サイクルツーリズムの観光客向けWEB情報発信を実施した。</li> <li>・日本海新聞令和4年3月22日朝刊に、「鳥取うみなみロード」完成2周年記念特集記事を掲載し、県民に対し、サイクルツーリズム推進の気運醸成を図った。</li> <li>・中国地方知事会サイクリング部会において関西のサイクルイベントに出展し、広域的なPRを実施した。</li> </ul> <p>(4) ナショナルサイクルルート指定を目指しワーキンググループで検討を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ナショナルサイクルルート推進ワーキンググループによりナショナルサイクルルート指定に向けての意見の集約・課題の整理等を行った。</li> <li>・ナショナルサイクルルート指定に向けて官民からの様々な意見を集約し方向性を確認することができた。</li> </ul> <p>3 事業成果(改善状況)・課題等</p> <p>○事業成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レンタサイクル拠点整備補助金などを活用しながら東・中部地域のサイクル拠点整備が進み、県内のコグステーションが8カ所となったほか、サイクリングガイド養成講座では東・中部地域で観光業に携わる方22名が受講されるなど、サイクルツーリズム振興に向けた気運が全県に広がりつつある。また、サイクルトレイン補助金を活用した輪行イベントを実施する民間団体が出てくるなど、民間レベルで盛り上がりにつながってきている。</li> </ul> <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ナショナルサイクルルート指定を目指す上で必要となる事項について、国・市町村等の関係機関と連携し、解消を図っていくことが必要。</li> </ul>					

- ・コグステーション、サイクリストに優しい宿の全県展開を図り、ダイジョウブシステムについて地域間で生じている受入環境の偏りのさらなる解消を目指すとともに、県内サイクリングルート of 整備・修繕やマップの電子化などにより、安全・安心な走行環境の整備・充実に向けた取組が必要。
- ・新型コロナウイルス感染症の国内拡大を受けて開催を断念した鳥取うみなみロードを活用したサイクリングイベントについて、密を回避できるイベント形式も検討しつつ、令和4年度内の開催を目指す。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
密を避けて楽しめる鳥取のアウトドアツーリズム事業	13,016	3,528			9,488
将来ビジョン	関連なし				
令和新时代創生戦略	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる 鳥取+ism (1) 観光・交流 ①豊かな観光資源を活かした戦略的観光立県 SDGs目標：08 働きがいも経済成長も				
政策項目	IV 暮らし新时代 ⑧ジオ・星・食・自然・温泉や歴史・文化・マンガを活かし外国入宿泊客25万人へ				
1 事業の目的、概要 ウイズコロナの時代となり、密を避けて自然を楽しむ観光の注目度が全国的に高まっている。そこで、新しい時代の鳥取のアウトドアツーリズムを様々な形で打ち出していくことで、観光誘客を図る。					
2 事業の内容、実施状況					
(1) 鳥取でのキャンプ「とりキャン」の魅力発信 国内最大級のキャンプ場検索予約サイト「なっぷ」の運営会社と連携し、「とりキャン」の魅力を発信するためのウェブサイト「とりキャン」を開設するとともに、県内キャンプ場とその周辺施設等を紹介する「とりキャンマップ」を作成。また、キャンプユーザーの県内への誘客及び県内観光地等の周遊を促進するための専門誌での情報発信やフォトラリーを実施した。 ○鳥取県キャンプ場情報サイト「とりキャン」の開設(令和3年7月20日) ＜サイトの特徴＞ ・県内キャンプ場を「初心者・ファミリーでも楽しめる」「バンガロー・コテージ・ロッジ・ログハウスのある」「上級者におすすめ」「観光地に近い」の4つの特徴ごとに紹介。(希望された37施設) ・同サイトから「なっぷ」を通じて、または直接キャンプ場の予約が可能。 ＜アクセス数(令和3年度末)＞ ・PV(ページが閲覧された回数): 44,694件、UU(アクセスのあったユーザー数): 15,444件 ○とりキャンマップの制作 県内キャンプ場及びキャンプ場周辺施設等を一覧で紹介する「とりキャンマップ」を3万部制作し、県内キャンプ場の他、県内主要観光地(砂丘、大山、皆生、三朝等)や道の駅、SA/PA等に配布した。 ○キャンプ専門誌とのタイアップ広告の実施 アウトドア情報誌「BE-PAL」及び「ガルヴィ」へとりキャンの広告を掲出し、県内へのキャンプ誘客の促進した。					
(2) アウトドアツーリズム県・鳥取の発信 ○100万人を超える会員を有するモンベルクラブのフレンドエリアに鳥取県を登録(令和3年8月) 鳥取県がアウトドアツーリズムに適した県であることを発信するため、令和3年8月8日(山の日)に、国内最大の総合アウトドアメーカー・(株)モンベルの有するモンベルクラブのフレンドエリアに鳥取県を登録し、アウトドアツーリズムの情報発信の基盤を構築した。					
(3) オールシーズンリゾート促進事業 ○スキー場等でのグリーンシーズンにおける観光プログラムを実践している先進地事例の研修会開催(令和4年3月24日) 県内スキー場関係者を対象に、冬季だけではなく、年間を通じた観光プログラムによる本県の新たな魅力づくりや観光誘客に向けた検討を進めるため、先進地事例研修及び意見交換を実施。 ○オールシーズンツーリズム普及促進支援補助金(補助率: 1/2、上限 200万円) 雪に依存しない新たなメニュー造成に必要な器材の購入経費等を補助。					
助成内容					助成金額
大山榎水高原におけるEバイクを活用した体験メニュー造成の取組を支援。					1,047千円
大山ホワイトリゾート内、中の原エリアにおけるゲレンデ内の見晴らしのよい木を活用したツリークライミング体験メニューの造成及び広報の取組を支援。					297千円
わかさ氷ノ山の樹氷スノーピアへの子どもが遊べるスペースの設置、Eバイクやグラススキーのコース整備及び広報の取組を支援。					1,044千円

(4) 鳥取県着地型観光・体験情報発信事業補助金

大手体験予約サイト(アソビュー)において、本県の体験アクティビティや観光の魅力を発信するための経費を補助(実施主体:県観光連盟、補助率:10/10)

○登録事業者数:59事業者(令和3年度末)

○体験プラン数:200プラン(令和3年度末)

○体験申込件数の推移

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
2,441	5,526	5,121	5,899	6,275	3,580	3,506

○体験申込者数の推移

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
6,437	15,610	14,142	15,959	18,049	9,034	8,499

3 事業成果(改善状況)・課題等

○事業成果

- ・コロナ過で比較的密を避けて自然を楽しめるキャンプをはじめ、本県がサイクリング、登山、カヌー、フィッシングなどアウトドア活動を楽しめる豊かな自然に恵まれ、全国的にもアウトドアツーリズムに適した地域であることの魅力を全国に発信した。
- ・市町村及び民間事業者によるキャンプ推進に向けた市町村・事業者連携のための意見交換を行い、県内キャンプ場が抱える課題やニーズの共有を行うことができた。

○課題等

- ・県内へのキャンプ誘客及び県内観光地等の周遊促進を図るため、ウェブサイト「とりキャン」の機能強化など、一層のとりキャンの魅力発信に取り組む必要がある。
- ・県内キャンプ場の多くの施設で老朽化が進んでおり、キャンプ誘客に繋げていくためにも、キャンプ場の利用環境の水準を向上させ、快適なキャンプ場づくりを進める必要がある。
- ・キャンプ誘客推進に向け、県内市町村及び民間事業者との連携に引き続き取り組んでいく。



(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
新型コロナから立ち上がる観光支援事業	2,451,107	2,142,051			309,056
【明許】観光需要回復促進事業	(221,182)	(221,000)			(182)
将来ビジョン	関連なし				
令和新时代創生戦略	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる 鳥取+ism (1) 観光・交流 ①豊かな観光資源を活かした戦略的観光立県 SDGs目標：08 働きがいも経済成長も				
政策項目	魅力ある観光地づくりと戦略的観光情報の発信				
1 事業の目的、概要					
国補助金「地域観光事業支援（需要創出支援）」を活用した「#WeLove山陰キャンペーン」及び「スペシャル・ウェルカニキャンペーン」の実施や新型コロナウイルス感染症の状況に応じた機動的な観光需要喚起対策に取り組み、県内観光需要の創出を図る。					
2 事業の内容、実施の状況					
県内の観光需要を回復させるため、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みながら県内から隣接県、中国四国ブロック内県へ誘客エリアを段階的に広げながら以下の取組を実施した。					
○#WeLove山陰キャンペーン、スペシャル・ウェルカニキャンペーン					
	#WeLove山陰キャンペーン	スペシャル・ウェルカニキャンペーン			
事業期間	令和3年3月1日～令和4年6月30日	令和4年12月15日～令和4年7月11日			
対象	鳥取県、島根県在住者	隣接県（島根県を除く）及び中国四国ブロック内県在住者			
補助率等	① ホテル・旅館等の宿泊料の割引（補助率：1/2、上限：5,000円/1人/1泊） ② 旅行会社を実施する県内宿泊・日帰り旅行代金の割引（補助率：1/2、上限：5,000円/1人/1回） ③ 県内宿泊者、宿泊・日帰り旅行者に対し、県内の飲食店、土産物店、交通機関、宿泊施設の売店で利用できるクーポンを配布 ④ 観光施設、体験事業等の利用料の割引（補助率：1/2、上限：3,000円/1人/1回） ※④は#WeLove山陰キャンペーンのみ				
延べ利用者数	1,674,337人				
○観光情報発信					
・ 広島駅・岡山駅・倉敷駅でのデジタルサイネージ広告、InstagramやFacebookでの情報発信、ラジオ・新聞広告、旅行会社と連携した中四国エリアプロモーションを実施した。					
3 事業成果（改善状況）・課題等					
○事業成果					
・ 全国の新型コロナウイルス感染症の感染状況も勘案しながら、県民向け誘客施策、隣接県民向け誘客施策など観光需要を喚起するための取組を段階的に実施し、観光需要の落ち込みを比較的最小限に抑え込むことができた。（減少率は全国10位）					
○課題					
・ 新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて機動的な観光需要喚起対策に引き続き取り組んでいくとともに、GoToトラベル事業終了後に見込まれる観光需要の落ち込みへの対策を実施することなどにより、県内観光の需要回復を図っていく必要がある。					

6 決算資料  
一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予算額			現額			調定額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備考
		当初予算額	修正予算額	計	継続費及び 繰越事業費 繰越財源充当額	計						
	行政財産使用 料			0			559,694	559,694			0	
	商工手数料	91,000		91,000			80,000	80,000			0	
	総務費国庫補 助金	2,900,000		2,900,000			15,172,259	15,172,259			0	
	商工費国庫補 助金	242,061,000	5,385,455,000	(221,000,000)	(221,000,000)	(222,000,000)	2,988,423,098	(222,000,000)	2,988,423,098		0	
	商工費寄付金	500,000		500,000			200,000	200,000			0	
歳入	繰越金			(40,607,800)	(40,607,800)	(40,607,800)	40,607,800	(40,607,800)	40,607,800		0	
	企業自立サ ボ一卜事業貸 付金元利収入	6,594,000	▲ 2,766,000	3,828,000			3,828,000	3,828,000			0	
	雑入	5,400,000		5,400,000			7,317,074	7,317,074			0	
	総務債	107,000,000		107,000,000			97,000,000	97,000,000			0	
	商工債	2,000,000	▲ 2,000,000	1,000,000	(1,000,000)						0	
	合計	366,546,000	5,380,689,000	6,009,842,800	(262,607,800)	(262,607,800)	3,153,187,925	(262,607,800)	3,153,187,925		0	

一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予			現		支出済額 （決算額） B	支出済額の内訳		翌年度 繰越額 C	差引残額 （不用額） A-B-C	備考
		当初予算額	修正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A		本庁	出納機関			
	一般管理費	370,114,975				370,114,975	370,112,683	370,112,683			2,292	所管替配 当
	計画調査費	244,684,000				244,684,000	233,729,096	233,729,096			10,954,904	
	交通対策費	103,797,000	▲ 11,298,000			92,499,000	76,268,458	76,268,458			16,230,542	
	金融対策費	6,594,000	▲ 2,766,000			3,828,000	3,828,000	3,828,000			0	
	観光費	833,097,000	5,304,272,000	(262,607,800)		(262,607,800)	(260,193,719)	(249,834,819)	(10,358,900)		(2,414,081)	
	合計	1,558,286,975	5,290,208,000	262,607,800	0	(262,607,800)	(260,193,719)	(249,834,819)	(10,358,900)	1,727,277,428	885,865,273	
				262,607,800		7,111,102,775	4,470,772,336	4,387,067,092	83,705,244	1,727,277,428	913,053,011	

7 事業別実施状況調べ

(単位：円、%)

事業名	予算現額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
(一般管理費)									
一般管理費	370,114,975				370,112,683		2,292	100.0	県内観光需要回復のため「We Love山陰キャンペーン」を実施し、観光施設等の入館料等に対し補助金を交付
目 計	370,114,975				370,112,683		2,292	100.0	
(計画調査費)									
SANKO夢みなとタワー管理委託費	124,627,000				124,627,000		0	100.0	鳥取県立夢みなとタワー管理運営業務の指定管理者である一般財団法人鳥取県観光事業団への委託を行った。
SANKO夢みなとタワーサイクリスト利用施設維持管理費	927,000				779,596		147,404	84.1	夢みなとタワー内にサイクリストの利便性向上のため自転車修理スペース、更衣室等を設置
SANKO夢みなとタワー改修事業	119,130,000				108,322,500		10,807,500	90.9	夢みなとタワーの老朽化した設備の更新・修繕等 【不用額の理由】入札による請負差額
目 計	244,684,000				233,729,096		10,954,904	95.5	
(交通対策費)									
国内航空便誘客促進事業	41,500,000				40,833,619		666,381	98.4	県内空港発着の航空路線の利用を促進するため、航空会社及び旅行会社等と連携した取組を実施した。
国内航空便利用促進事業	62,297,000	▲ 14,298,000		▲ 1,048,000	31,386,839		15,564,161	66.9	県内空港発着の航空路線の維持拡充と利便性向上のため、官民で構成する利用促進懇話会と協調して旅行商品の造成支援等を実施した。 【流用】航空会社と連携した「とつとり翼の大使」事業へ流用 【不用額の理由】新型コロナウイルス感染症の影響により、エアサポーター事業の利用者数が見込みを下回ったため。

航空会社と連携した「とっとり翼の大使」事業		3,000,000		1,048,000	4,048,000	4,048,000			0	100.0	航空会社の現役客室乗務員を「とっとり翼の大使」に任命し、本県の魅力発信を行った。 【流用】国内航空便利用促進事業から流用
目 計	103,797,000	▲ 11,298,000		0	92,499,000	76,268,458			16,230,542	82.5	
(金融対策費)											
観光開発促進資金 融資制度	6,594,000	▲ 2,766,000			3,828,000	3,828,000			0	100.0	観光施設等の施設整備を行う中小企業向けに、預託方式により低利の融資制度を実施。
目 計	6,594,000	▲ 2,766,000			3,828,000	3,828,000			0	100.0	
(観光費)											
観光振興費	44,323,000	▲ 5,644,000			38,679,000	32,876,411			5,802,589	85.0	旅行業法による登録事務の実施。その他観光施策の推進。
一般社団法人山陰 インバウンド機構 運営事業	80,000,000				80,000,000	80,000,000			0	100.0	山陰両県を対象地域とした「山陰インバウンド機構」の運営経費を負担し、外国人観光客の誘客のための環境整備
コンベンション誘 致促進事業	48,488,000	▲ 21,922,000			26,566,000	24,707,750			1,858,250	93.0	(公財)とっとりコンベンションビューローに対して、コンベンション誘致に要する経費を助成した。
鳥取県観光連盟運 営費	93,508,000				93,508,000	93,508,000			0	100.0	(公社)鳥取県観光連盟の運営負担金
世界に誇れる「星 取県」づくり推進 事業	13,800,000	▲ 2,570,000			11,230,000	9,589,500			1,640,500	85.4	星空観光コミュニケーションの育成、SNSを活用したキャンペーンの実施等を通じて、星取県の認知度及びブランドイメージの向上が図られた。

「蟹取県へウェルカニ」誘客促進事業	32,427,000				32,427,000	31,820,042	606,958	98.1	蟹取県について首都圏でのメディア発表やSNSキャンペーンを行うことでPRを図った。
「ぐるっと山陰」誘客促進事業	40,500,000	▲ 10,674,000			29,826,000	15,186,000	14,640,000	50.9	山陰を周遊する旅行商品の造成支援やバス代支援及び観光周遊バスポート作成支援 【不用額の理由】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、旅行需要が大幅に低下したため。
観光情報提供事業	46,550,000				46,550,000	42,211,736	4,338,264	90.7	マスメディアやインターネット広告等を活用した情報発信
温泉地等魅力向上事業	14,810,000	▲ 9,300,000			5,510,000	4,694,636	815,364	85.2	温泉地の情報発信、商品造成などの支援や砂丘イリュージョンの経費支援を行った。
旅情あふれる「鳥鉄の旅」創造事業 (主)	11,867,000				11,867,000	11,620,357	246,643	97.9	県内の鉄道に関する観光素材の魅力向上やツアー一造成等の取組を支援
サイクリストの聖地鳥取県整備事業 (サイクルツーリズム推進事業)	33,876,000		(6,300,800)	6,300,800	(6,300,800)	(6,054,300)	(246,500)	96.1	「6主な事業に関する調べ」に記載【流用(現年)】外国人観光客受入環境整備事業から流用
外国人観光客受入環境整備事業	22,450,000	▲ 9,226,000			12,800,000	4,100,820	8,699,180	32.0	市町村や民間事業者による外国人観光客の受け入れ環境整備に対する支援。 令和3年度は補助率3/4の新型コロナウイルス感染症対策補助金(前向き投資支援)が宿泊施設向けに創設された事があり申請数が大きく減った。 【流用(現年)】サイクリストの聖地鳥取県整備事業(サイクルツーリズム推進事業)へ流用

観光周遊促進支援事業	19,128,000	▲ 11,462,000			7,666,000	2,467,820		5,198,180	32.2	観光周遊タクシー、観光ツアーバスの運行支援を行った。 【不用額の理由】 新型コロナウイルス感染拡大のため、観光周遊タクシーや観光ツアーバスの運行が中止になった。クルーズ船の寄港もなかったため、周遊バスの利用がなかった。
とっとりスタイルエコツーリズム普及推進事業	14,239,000				14,239,000	13,291,000		948,000	93.3	ニューツーリズムに対する受入環境整備及び教育旅行誘致のための取組に対して支援した。
広域観光連携推進事業	8,915,000	▲ 576,000			8,339,000	7,661,047		677,953	91.9	県内外の関係団体と連携したプロモーションを実施
(主) 密を避けて楽しむ鳥取のアウトドアツーリズム事業	15,112,000	▲ 779,000			14,333,000	13,015,560		1,317,440	90.8	「6主な事業に関する調べ」に記載
魅力ある滞在型観光エリアづくり推進事業	7,000,000	▲ 5,500,000			1,500,000	0		1,500,000	0.0	宿泊やアクティビティ、グルメ、アート等の体験とスポットを繋げて、2泊・3泊と滞在しにくくなるような魅力的な観光エリアの創造を支援。 【不用額の理由】 新型コロナウイルス感染症の拡大により、交付決定した観光モニターツアーが実施できなかったため。
(主) 新型コロナウイルスから立ち上がる観光支援事業	200,000,000	4,280,000,000			4,480,000,000	2,451,107,296	1,710,000,000	318,892,704	54.7	「6主な事業に関する調べ」に記載

新型コロナウイルス対策お楽しみ券応援事業	50,000,000	50,000,000	277,822	49,722,178	0.6	県内宿泊・観光事業者等が独自に発行するプレミアム付前売り券「鳥取県民向け新型コロナウイルス対策お楽しみ券」のプレミアム分（50%）を支援。 【不用額の理由】WELOVE山陰キャンペーンと実施時期、支援内容が重複していたことと使い勝手の悪さ（利用実績に応じた支援、WELOVE山陰との併用不可など）から、発行を希望され得る事業者が見込みよりも大幅減となったため。
宿泊事業者新型コロナウイルス感染防止対策事業	877,500,000	877,500,000	502,046,315	373,313,685	57.2	県内宿泊事業者による新型コロナウイルス感染防止対策及びワーケーションスペースの設置等の前向き投資への支援。 【不用額の理由】当初の想定（約600施設）よりも申請数（計207施設）が下がったため。 【翌年繰越の理由】コロナ療養の受入施設となつてしまひ、事業が完了しなかつた事業者がいるため。
令和3年7月豪雨に係る宿泊事業者支援事業	54,000,000	54,000,000	54,000,000	0	100.0	令和3年7月豪雨により被災した県内宿泊事業者へ支援した。
サウナを活用したニューツーリズム推進事業	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	100.0	とっとりサウナツーリズムに関するトピックやサウナ施設、イベント情報等を発信する特設サイト「ととりのとっとり」HP・SNSを開設。
宿泊・観光事業者等が独自に発行するプレミアム付前売り券「とっとり応援前売り券」のプレミアム分（20%）を支援。	100,000,000	100,000,000	50,520,906	49,479,094	50.5	県内宿泊・観光事業者等が独自に発行するプレミアム付前売り券「とっとり応援前売り券」のプレミアム分（20%）を支援。 【不用額の理由】発行希望事業者数の見込み減による。



観光需要回復加速 化緊急対策事業 (バス旅行商品支 援)	30,000,000	30,000,000	1,782,211	28,217,789	5.9	大幅に落ち込んだ旅行需要を加速度的に回復させるため、本県への宿泊・周遊を伴うバスツアー一造成に対する支援 【不用額の理由】 新型コロナウイルス感染症拡大によつて、令和4年1月20日から同年4月11日まで新規受付を停止していたため。 ※春季分の支援対象期間：令和4年1月4日～同年3月10日
段階的な観光需要 回復事業	(2,000,000) 2,000,000	(2,000,000) 2,000,000	(0) 0	(2,000,000) 2,000,000	0.0 0.0	OTA(インターネット)で取引を行う旅行会社)を活用した宿泊クーポンの発行や県内宿泊者へのガソリン給油券・指定観光施設の無料券の提供等を実施した。 【不用額の理由】令和2年度予算執行したため。
観光需要回復促進 事業	(50,000,000) 50,000,000	(221,346,829) 221,346,829	(221,181,648) 221,181,648	(165,181) 165,181	99.9 99.9	「6.主な事業」に関する調べ」に記載【流用(明許)】新型コロナ対策お楽しみ券応募事業から流用
新型コロナ対策お 楽しみ券応募事業	(200,000,000) 200,000,000	(▲171,346,829) ▲171,346,829	(28,653,171) 28,653,171	(0) 0	100.0 100.0	県内宿泊・観光事業者等が独自に発行するプレミアム付前売り券「新型コロナ対策お楽しみ券」のプレミアム分(20%)を支援した。 【流用(明許)】観光需要回復促進事業へ流用
地方機関事業	86,104,000	▲10,575,000	(4,307,000) 4,307,000	(2,400) 12,211,192	99.9 84.7	
目 計	833,097,000	5,304,272,000	(262,607,800) 262,607,800	(262,607,800) 3,786,834,099	59.2	
合 計	1,558,286,975	5,290,208,000	(262,607,800) 4,470,772,336	(2,414,081) 913,053,011	62.9	

8 予備費の充用調べ  
該当なし

9 現金の取扱状況  
(1) 現金取扱状況  
該当なし

(2) つり銭の状況  
該当なし

10 財産に関する調べ  
(1) 公有財産  
ア 土地

(令和4年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日	面積 (㎡)	
行政財産	夢みなとタワー	境港市竹内団地255-3	11,928.33	272,992,560					11,928.33	272,992,560	
計			11,928.33	272,992,560					11,928.33	272,992,560	
合計			11,928.33	272,992,560					11,928.33	272,992,560	

イ 建物

(令和4年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日	面積 (㎡)	
行政財産	夢みなとタワー	境港市竹内団地255-3	8,456.77	4,423,286,300					8,456.77	4,423,286,300	
計			8,456.77	4,423,286,300					8,456.77	4,423,286,300	
合計			8,456.77	4,423,286,300					8,456.77	4,423,286,300	

ウ 山林  
該当なし

- エ 不動産売却等  
該当なし
- オ 財産の交換  
該当なし
- カ 動 産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）  
該当なし
- キ 物 権  
該当なし
- ク 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）  
該当なし
- ケ 有価証券  
該当なし
- コ 出資による権利

（令和4年3月31日現在）

区 分	前年度末 (数量、金額) 円	本 年 度 中		本年度末 (数量、金額) 円	法 人 名	備 考
		増 円	減 円			
出捐金	500,000			500,000	一般財団法人鳥取 県観光事業団	
出捐金	500,000,000			500,000,000	公益財団法人とっ とりコンベンショ ンビューロー	
合 計	500,500,000			500,500,000		

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

(有) ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

（令和4年3月31日現在）

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
112枚	0枚	19枚 32,370円	93枚

(3) 基 金

該当なし

(4) 債 権

決算資料提出データベースに掲出済

1.1 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

(令和4年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)の目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	
行政財産	駐車場	境港市竹内団地252-2	112.5㎡	R3. 3. 24	H29. 10. 6	R3. 4. 1~ R4. 3. 31	月額	38,194	鳥取市相生町4丁目411一般財団法人鳥取県観光事業団
	事務室設置	境港市竹内団地255-3	517.96㎡	R3. 3. 4	H30. 4. 1	R3. 4. 1~ R4. 3. 31	月額	146,973	境港市竹内団地255-3株式会社さかいみなと貿易センター
	電気通信設備設置	境港市竹内団地252-1	電柱2本、V支線(2)4条	R3. 1. 21	H16. 4. 1	R3. 4. 1~ R8. 3. 31	月額	9,000	鳥取市湯所町2-258西日本電信電話株式会社鳥取支店
計								194,167	
合計								194,167	

イ 建物

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)の目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	
行政財産	ビューカメラ設置	境港市竹内団地255-3	1.309㎡	R3. 1. 21	H22. 12. 20	R3. 4. 1~ R4. 3. 31	月額	19,920	米子市河崎610株式会社中海テレビ放送
	施工管理用力メラ設置	境港市竹内団地255-3	8.91㎡	R3. 3. 23	H31. 2. 4	R3. 4. 1~ R4. 3. 31	月額	89,640	境港市昭和町9中国地方整備局 境港湾・空港整備事務所
	天気カメラ設置	境港市竹内団地255-3	11.935㎡	R3. 3. 12	H31. 4. 16	R3. 4. 1~ R4. 3. 31	月額	119,520	鳥取市寺町100日本放送協会鳥取放送局
	電力供給のための送電設備設置	境港市竹内団地255-3	2.9016㎡	R3. 10. 1	R3. 10. 1	R3. 10. 4~ R4. 3. 31	月額	11,164	米子市面三柳323番地1株式会社クリエイティブサポート
	会議室	境港市竹内団地255-3	18.62㎡	R3. 3. 9	R2. 6. 25	R3. 4. 1~ R4. 3. 31	月額	94,620	鳥取市若葉台南7-5-1公益財団法人鳥取県産業振興機構
計								334,864	
合計								334,864	

(2) 物 品 (1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)  
該当なし

1 2 借受不動産明細調べ  
該当なし

1 3 職員駐車場の管理状況調べ  
該当なし

1 4 寄附物件の受納状況調べ  
該当なし

1 5 備品の処分状況調べ

(令和4年3月31日現在)

品 名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不 用 定 年 月 日	処 分					備 考
			売 払 棄 却 の 別	売 払 方 法 ・ 棄 却 理 由	処 分 年 月 日	売 払 額	処 分 費 用	
トリピー着ぐるみ	H19. 3. 29	R3. 11. 22	棄却	経年劣化及び鳥取県物品事務取扱規則第30条第2項に定める売り払うことができない物品のため。	R3. 12. 16	円	円	他の処分品と一括処分したため、個別の処分費用は不明
麒麟獅子トリピー着ぐるみ(付属物を含む)	H21. 3. 31	R3. 11. 22	棄却	経年劣化及び鳥取県物品事務取扱規則第30条第3項に定める売り払うことができない物品のため。	R3. 12. 16		144, 210 円の内数	
合 計								

1.6 貸付金等状況調べ  
(1) 総括表

(令和4年3月31日現在)  
(単位:円)

貸付金の名称	貸付先	貸付額		本年度(元金のみ)			本年度末現在 貸付残高 (A+B)-(C+D+E)	備考
		前年度末現在 貸付残高(A)	本年度貸付額 (B)	償還額 (C)	不納欠損額 (D)	償還免除額 (E)		
観光開発促進資金	山陰合同銀行	0	3,828,000	3,828,000	0	0	0	
合計		0	3,828,000	3,828,000	0	0	0	

(令和4年3月31日現在)  
(単位:円)

(2) 償還状況  
(観光開発促進資金)

区分	貸付額		本年度			本年度末		備考
	前年度末現在 貸付残高(A)	本年度貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (G-D-E)	
元金	0	3,828,000	3,828,000	3,828,000	0	0	0	
			3,828,000	3,828,000	0	0	0	
利子								
合計			3,828,000	3,828,000	0	0	0	

○ 意見、要望等  
該当なし